

## 2022 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	広島市防災士ネットワーク
活動テーマ	「キッズ防災士」の養成と地域防災への取り組み



防災キッズ「基礎コース」は、広島県内の466小学校のうち92校・145103名の児童中2,389名子ども達が「キッズ防災士」として認定を受け、缶バッチのプレゼントを受けました。

また、私達が実施する小学校での防災授業も数多く実施しました（広島市内4小学校）。防災授業の実施方法も学校によってまちまちで、総合学習時間を利用する場合や、学校のクラブ活動として通年を通じてプログラムを進めていく学校もあります。防災授業を行った小学校では、1年間防災について学んだものを、私達を小学校へ招待し、学習成果の発表会を開催した学校もありました。

さらに発展コースは、夏休みなどの休校中を利用し、地域の「防災探検」を行い、その後「防災マップ」作製を行いました。昼食は非常食を自分たちで作成し試食しました。さらに、地元非営利団体からの要請で、夏休み期間中の宿泊研修で「キッズ防災士」のメニューを取り入れたい旨の要請があり実施しています。

「キッズ防災士防災クラブ防まもる」の活動として、広島県内の「平成30年7月西日本豪雨災害被災地をJRローカル線で巡る」ツアーを募集し、2回実施しました。広島県内のJRローカル線（山陽本線・芸備線・福塩線・呉線）は平成30年7月発生した「西日本豪雨災害」の被災地を走り、しかもJR自身が被災されました。これらの現実を見た私達はJRを活用した「被災地」巡りを計画しました。JR車窓から被災状況の説明を受け、激しく被災した地域では下車し、被災者の体験談をお聞きし、当時の被災地を案内していただきました。結果は大変好評で「続けて開催して欲しい。」との声を大勢の方からいただいた。JR三次駅周辺では、昭和47年豪雨被害の状況も併せてお聞きし災害復旧とともに発展した三次市中心部のお話も伺いました。